

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

| 教科 | 発行者の番号・略称 教科書名 | 事 由 |
|----|---------------------|---|
| 数学 | 61・啓林館 未来へひろがる数学 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表表紙 A4 縦は「通常の授業で使用する教科書」として、裏表紙 A4 横は「生徒自らが自分の興味・関心に基づいて数学の学習に取り組む際に使用する教科書」という構成になっている。裏表紙の「力をつけよう」は基礎・基本の着実な定着、「学びをいかそう」は数学が活用されている日常生活・社会の事象からの問題となっており、思考力や判断力・表現力、新たに身に付けた知識・技能を活用する学習活動が展開できる。生徒一人一人の「学びに向かう力」の育成に配慮されている。 ○ 「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」という課題を設定し、思考力や表現力を養うとともに、言語活動を中心とした対話的な学びが展開されるように配慮されている。 ○ 応用問題や例題がパターンごとによく整理され、分量も適切である。例題に付けられたタイトルが的確に内容を示して見やすく、生徒が学習を進めていく上での助けとなる。予習を進めたり復習として教科書を使って振り返ったりする際の生徒の使いやすさや教師の扱いやすさに配慮した体裁となっている。 ○ 脚注の「ルーペ記号」には、そのページで用いられる数学的な見方・考え方が記載されており、統合・発展的に考察したり論理的に考察したりする力を養えるように配慮がされている。授業を「深い学び」にする上でも大きな手助けとなる。 ○ 式やグラフ、図形においても、色使いに配慮がなされ、大事な部分に生徒の視点が自然に集まる表記となっている。文字は形や大きさが見やすく、色合いも落ち着いており、誰でも使いやすいように配慮されている。重要な定理や基礎的・基本的な知識については、見やすいように枠に入った記載となっており、授業での既習事項の確認や生徒による振り返りが容易になるように配慮されている。 |